

2022年度 第2四半期決算

2022年10月31日
日本軽金属ホールディングス株式会社

1. 2022年度 第2四半期決算
2. 2022年度 連結業績予想

第2四半期決算 — 前年同期比

(億円)

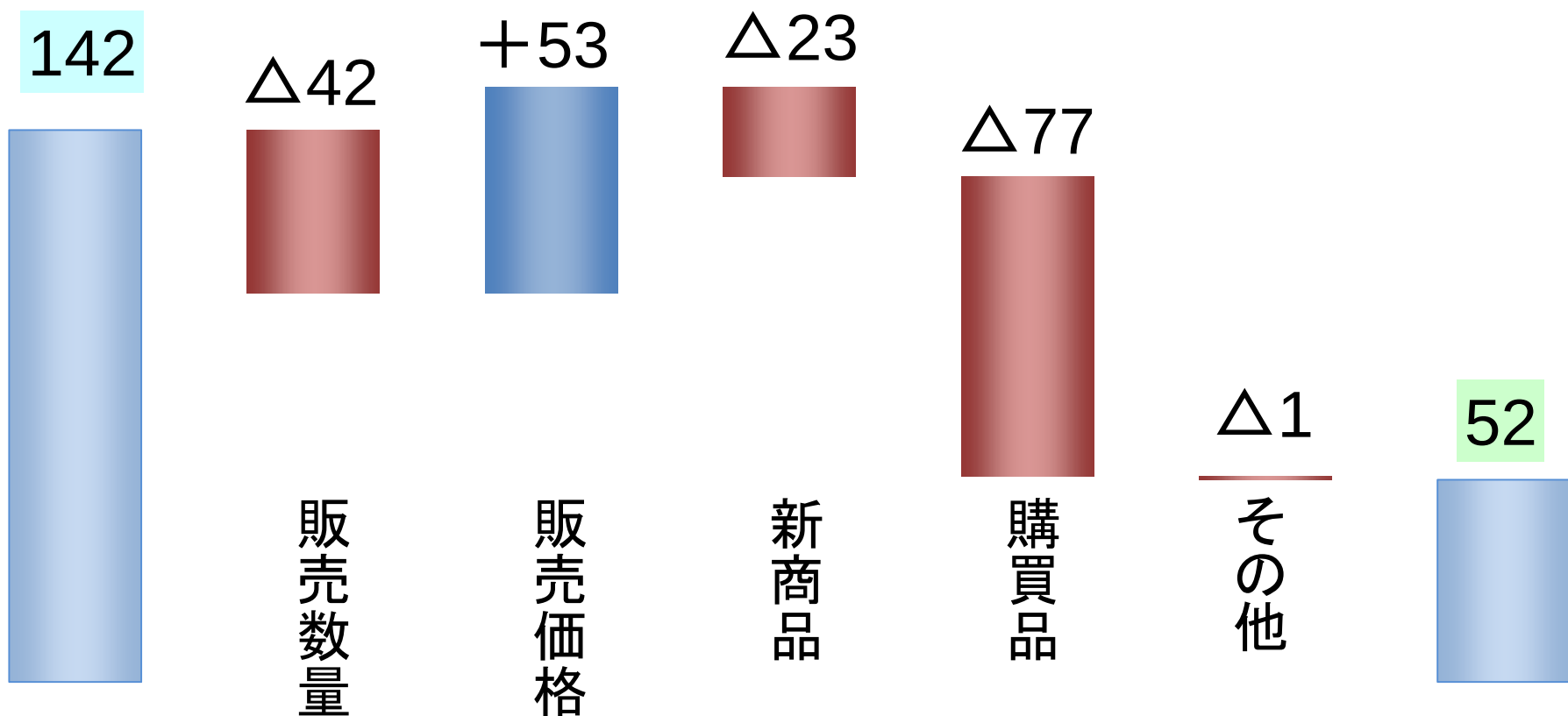
	2022/4-9 実績	2021/4-9 実績	増減
売上高	2,531	2,360	+171 (+7.2%)
営業利益	37	140	△103 (△74.0%)
経常利益	52	142	△90 (△63.4%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	38	108	△70 (△64.8%)
1株当たり中間 配当金	40円	40円	±0

経常利益変化要因 — 前年同期比

2021/4～9
実績

△90億円

2022/4～9
実績
(億円)

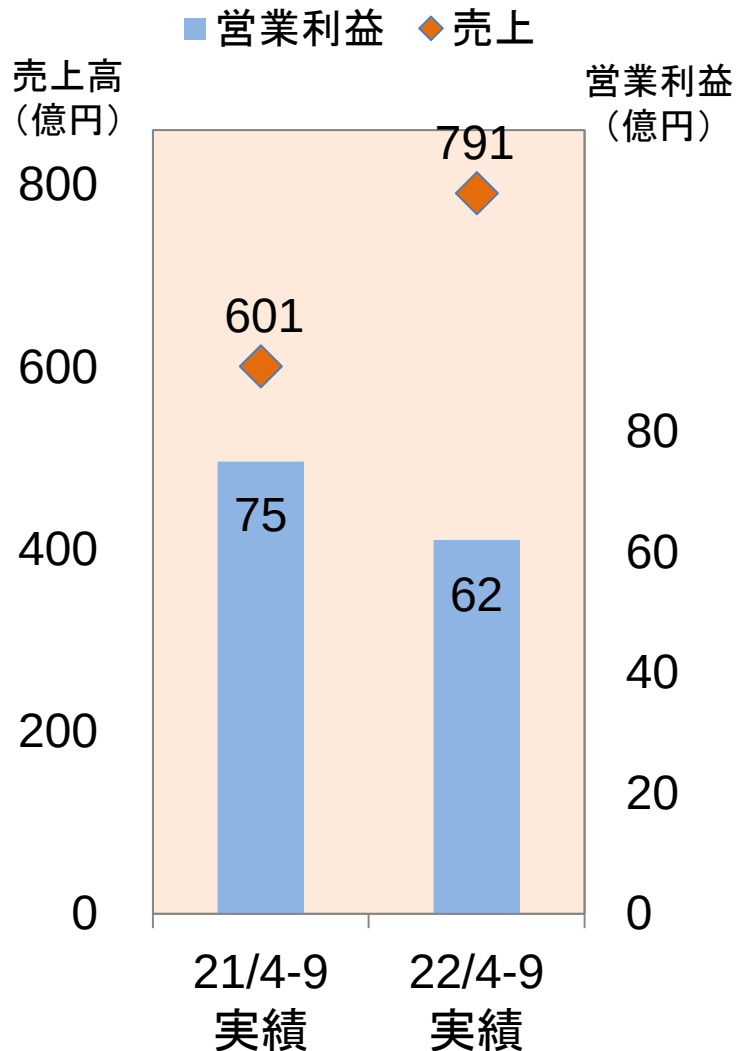


セグメント情報 — 前年同期比

(億円)

	売上高			営業利益		
	2022/4-9 実績	2021/4-9 実績	増減	2022/4-9 実績	2021/4-9 実績	増減
アルミナ・化成品 地金	791	601	+190 (+31.6%)	62	75	△13 (△16.9%)
板、押出製品	555	580	△25 (△4.4%)	4	47	△43 (△91.2%)
加工製品 関連事業	688	746	△58 (△7.8%)	△18	21	△39 (—)
箔、粉末製品	497	433	+64 (+14.8%)	6	14	△8 (△62.1%)
管理・共通	—	—	—	△17	△17	±0
合計	2,531	2,360	+171 (+7.2%)	37	140	△103 (△74.0%)

アルミナ・化成品、地金



アルミナ・化成品

- 販売 : 耐火物向け・凝集剤向け需要は堅調。
- 採算面 : 販売価格改定も原料水酸化アルミニウム等原材料価格高騰が大きく、減益。

日軽エムシーアルミ

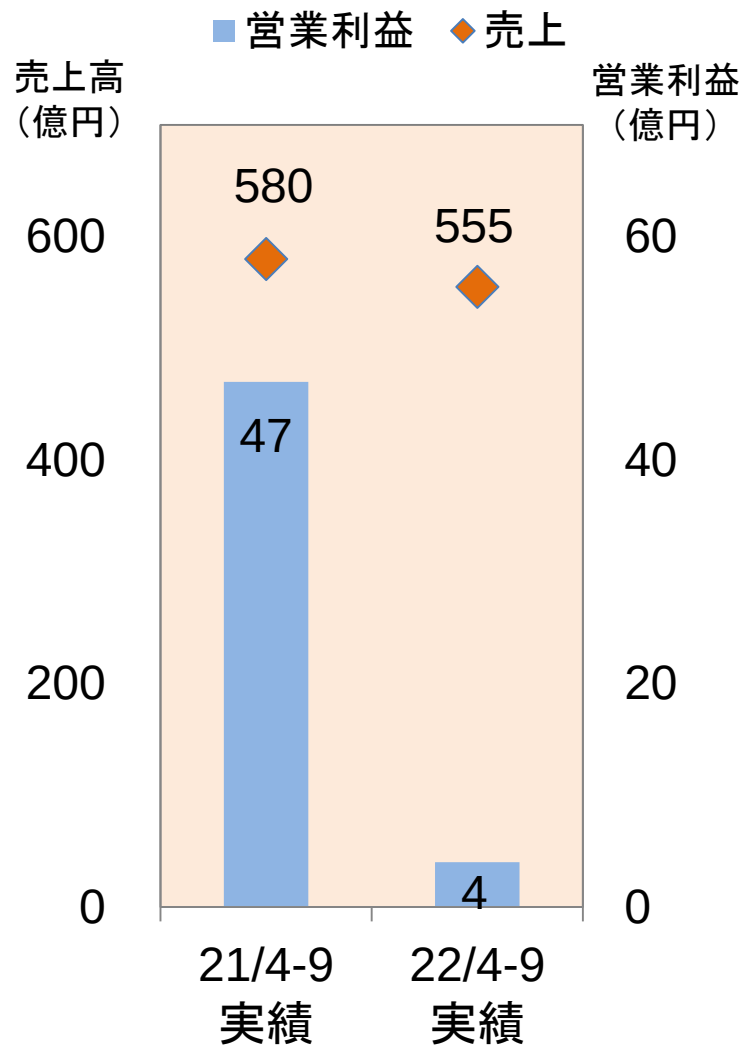
- 売上高 : 販売減少影響をアルミニウム地金価格反映による販売価格上昇が上回り、増収。
- 採算面 : 国内外の自動車減産・中国での都市封鎖による販売減少に加え、燃料価格高騰によるコスト上昇で減益

日軽エムシーアルミ販売量 (千トン)

	22年度 上期		
	実績	前年	増減
国内	65.1	67.5	△4%
海外	69.7	68.1	+2%
合計	134.8	135.6	△1%

2022年度 第2四半期決算

板、押出製品



板

- 市場環境 : 半導体製造装置向け厚板の需要が調整局面に。
- 採算面 : リチウムイオン電池向けの販売減少に加え、板加工中国拠点の全持分譲渡影響で減益。

板事業部販売量 (千トン)

22年度 上期			
実績	前年	増減	
32.0	35.3	△9%	

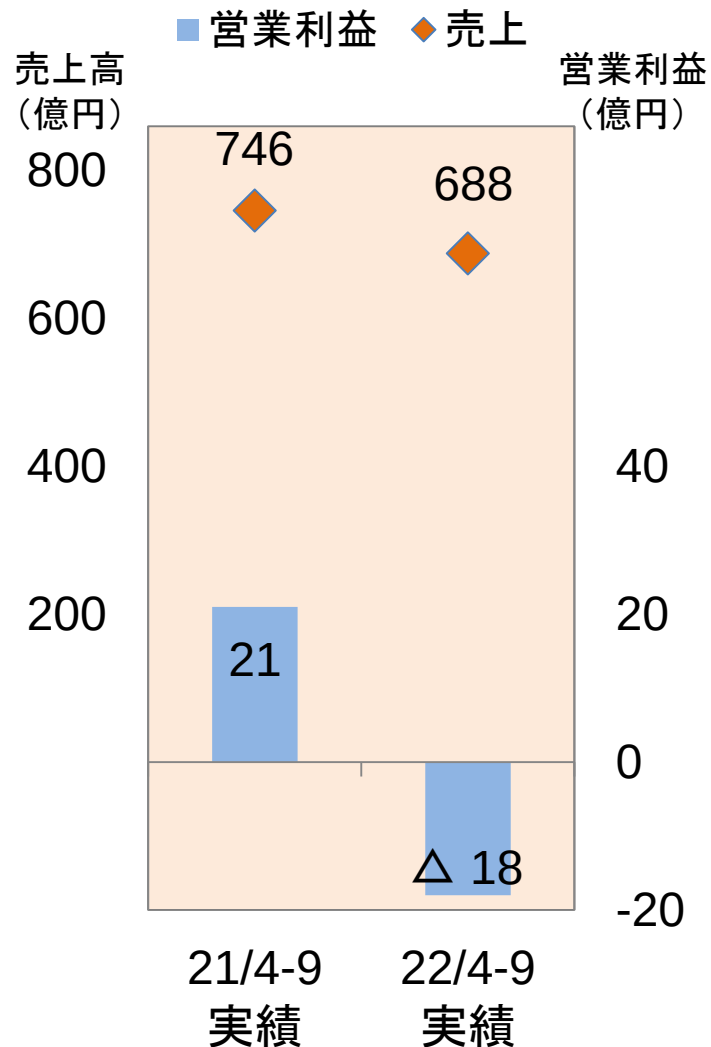
日軽金アクト

- 自動車関連・トラック架装向け :
国内外での部品不足やサプライチェーンの混乱継続による自動車・トラックシャシーの減産影響大きく、減益。

日軽金アクト販売量 (千トン)

22年度 上期			
実績	前年	増減	
16.2	18.6	△13%	

2022年度 第2四半期決算 加工製品、関連事業



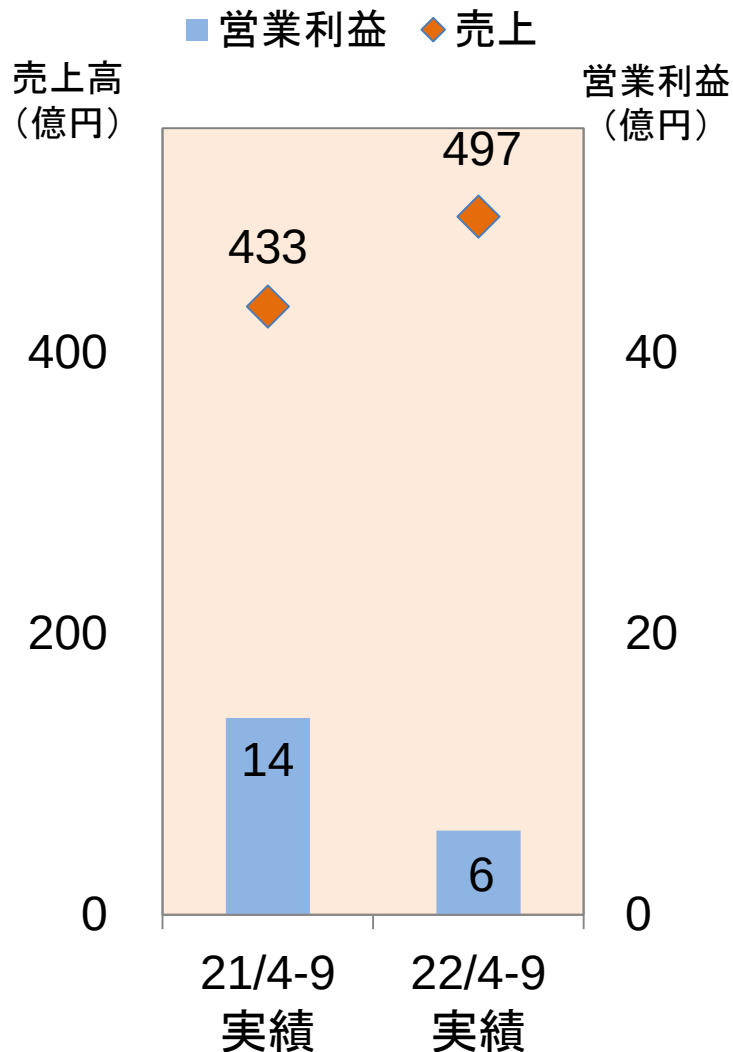
日本フルハーフ

- 販売：半導体等の部品不足や供給混乱などによるトラックシャシーの減産継続で販売台数大幅減少。
- 採算面：減収に加え、アルミニウム・鋼材等材料価格上昇の影響大きく、減益。

日軽パネルシステム

- 冷凍・冷蔵分野：冷凍食品やネット販売等物流拠点向け需要は好調も、一部大型物件での工期延期影響有。
- クリーンルーム：半導体製造装置メーカー・電子材料メーカー向け産業用クリーンルームの需要が旺盛。
- 採算面：部門全体で増収も、原材料価格高騰の影響により減益。

2022年度 第2四半期決算 箔、粉末製品



東洋アルミニウム

■ 売上高:

<箔部門>

- ・ リチウムイオン電池外装用箔は自動車減産継続で大きく減販も、地金市況反映の販価上昇や販価改定、インド子会社連結化で増収。

<パウダー・ペースト部門>

- ・ 粉末製品は半導体や供給網混乱有るも放熱用途堅調、ペーストは国内自動車減産影響も、海外向けが前期比増で、部門全体は増収。

<日用品部門>

- ・ コンシューマー向けのハウスクエア用品・アルミホイルが減販も、パッケージ用品向けの冷食向け堅調に加え、販価改定実施で増収

- ### ■ 採算面：
- 原燃料価格高騰によるコスト上昇も影響が大きく、減益。

目次

1. 2022年度 第2四半期決算
2. 2022年度 連結業績予想

通期業績予想 — 前期比

(億円)

	2022年度 予想(10/31)	2021年度 実績	増減
売上高	5,150	4,866	+284 (+5.8%)
営業利益	125	222	△97 (△43.7%)
経常利益	150	229	△79 (△34.6%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	100	168	△68 (△40.3%)
1株当たり配当金	(※)85円	85円	±0

※中間40円/株・期末45円/株

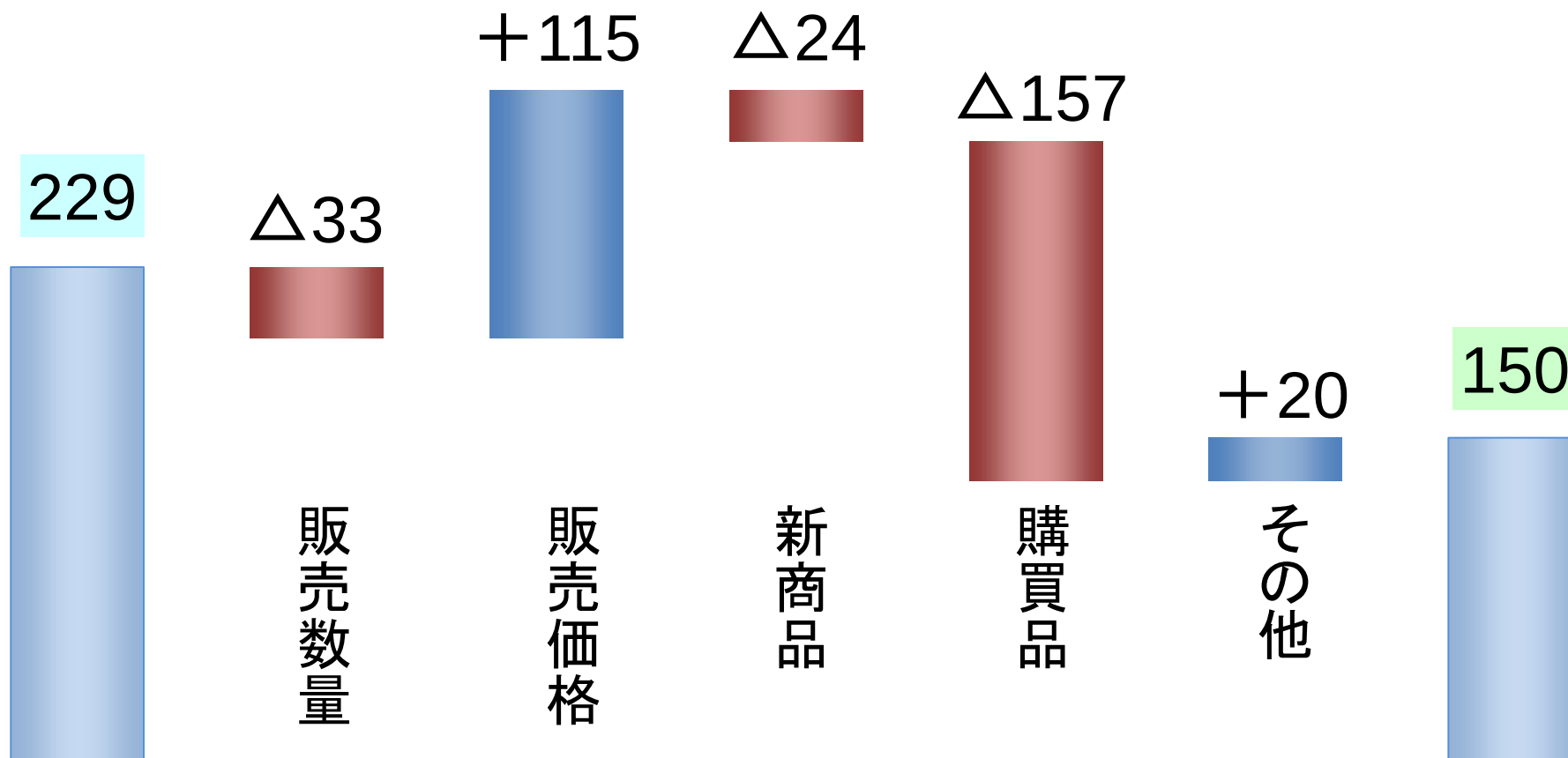
Copyright Nippon Light Metal Holdings Co.,Ltd All rights Reserved.

経常利益変化要因 — 前期比

2021年度
実績

△79億円

2022年度
予想(10/31)
(億円)



セグメント情報 — 前期比

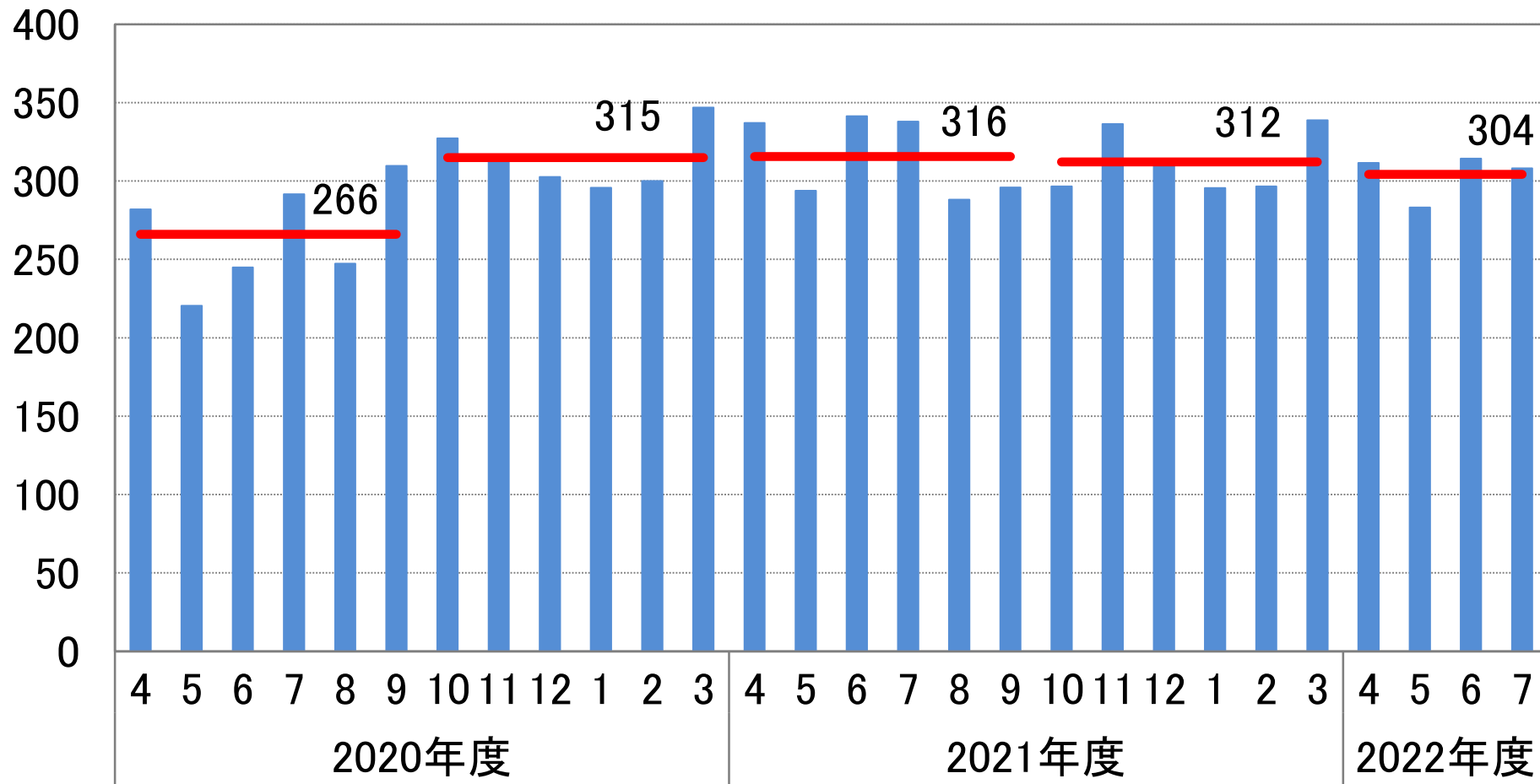
(億円)

	売上高			営業利益		
	2022年度 予想(10/31)	2021年度 実績	増減	2022年度 予想(10/31)	2021年度 実績	増減
アルミナ・化成品 地金	1,600	1,276	+324 (+25.4%)	120	130	△10 (△7.8%)
板、押出製品	1,060	1,139	△79 (△6.9%)	10	75	△65 (△86.7%)
加工製品 関連事業	1,490	1,534	△44 (△2.9%)	10	38	△28 (△73.5%)
箔、粉末製品	1,000	917	+83 (+9.1%)	25	16	+9 (+59.2%)
管理・共通	—	—	—	△40	△37	△3
合計	5,150	4,866	+284 (+5.8%)	125	222	△97 (△43.7%)

補足資料

国内アルミ製品総需要の推移

(千トン)



<出所: 日本アルミニウム協会>

2022年度 連結業績予想 諸元と感応度

	2022年度 予想(5/16)	2021年度 実績	経常利益への 感応度
アルミ地金 (円/kg)	390	378	10円/kg上昇した場合 △5億円/年
為替 (円/米ドル)	115	113	10円円高となった場合 △5億円/年
ドバイ原油 (米ドル/BBL)	85	78	10ドル/BBL上昇した場合 △6億円/年

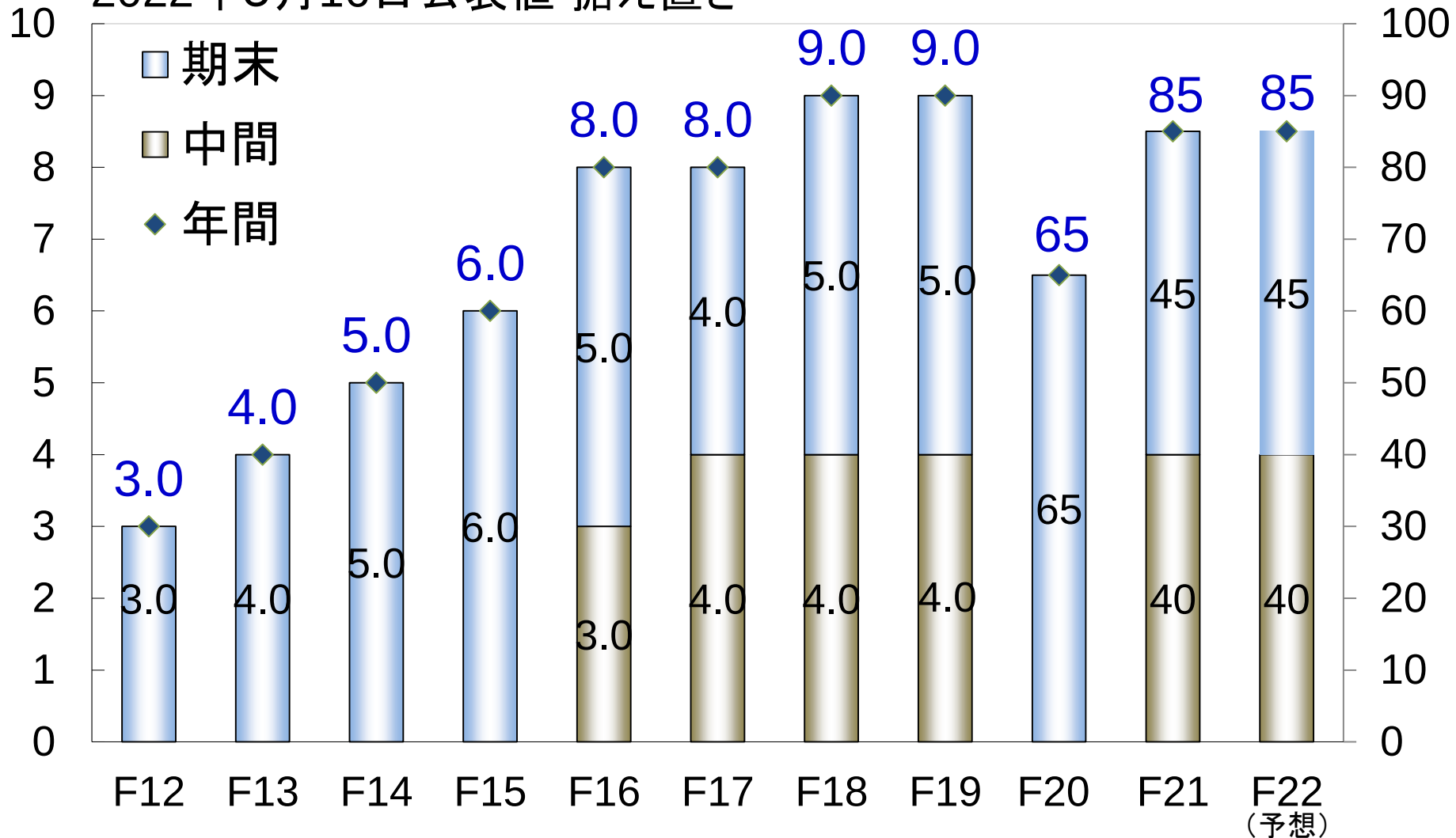
主要会社の業績 — 前年同期比

(億円)

	2022/4-9実績			2021/4-9実績		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
日 本 軽 金 属 (単体)	784	33	76	649	44	76
東 洋 アルミニウム (連結)	499	1	10	435	14	18
日 軽 エムシーアルミ (連結)	529	13	15	380	17	18
日 本 フ ル ハ ー フ (連結)	256	△22	△22	324	2	2
日 軽 金 ア ク ト (連結)	264	△7	△4	270	19	20

1株当たり配当金

2022年5月16日公表値 据え置き



当社は2020年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。

本資料についての注意事項

1. 本資料は2023年3月期の業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却を勧誘するものではありません。
2. 本資料のなかで記述しております将来の動向や業績等に関する見通しは、歴史的事実でないためリスクと不確定な要素を含んでおり、将来の業績を保証するものではありません。実際の業績は、予測しえない経済状況の変化などさまざまな要因により見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。実際の業績に影響を与える重要な要因には、当社グループを取り巻く経済情勢、社会的動向、当社グループの提供する製品やサービス等に対する需要動向による相対的競争力の変化などがあります。なお、業績に影響を与える重要な要因は、これらに限定されるものではありません。
3. 本資料の中で記述しております事項は、資料作成時点における当社の見解であり、今後予告なく変更される場合があります。
4. 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。